

【協働型学校評価の協働目標】

自分の思いを最後まで話すことができる児童の育成
「自分の思いをわかりやすくしっかりと話しましょう」

【協働型学校評価の重点目標】

自分の思いをわかりやすくしっかりと話すことができる児童の割合「Aできた」を、**全体の6割以上**にする。

【重点目標実現のための三者（学校・家庭・地域）の働きかけ改善活動】

児童の取り組み	学校のはたらきかけ	家庭のはたらきかけ	地域のはたらきかけ
<ul style="list-style-type: none"> ◆自分の話し方・聞き方のめあてをたてる ◆朝の会、帰りの会、授業、学校生活全般において、「相手に伝える話し方」「経験と比べた聞き方」に心がける ◆「あいさつ運動」「子供会・地域の行事」に積極的に参加する（コミュニケーションの場） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習指導・学校生活全般を通して、よく聞き最後まで話す指導をする ◆ソーシャルスキルを踏まえ、場に応じた基本的な話し方、聞き方を指導する ◆児童の話最後まで聞く ◆児童が、応対が上手にできたときは、ほめる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭の実情に応じた「話し方」「聞き方」の目標を設定する ◆児童の話最後まで聞く ◆児童が、応対が上手にできたときは、ほめる ◆相手の目を見て、明るく挨拶ができる。 ◆自分の思いを表す言葉を豊かにする。 ◆言葉をふやすために、本を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆行事等で、積極的に児童に話しかける機会を多くする ◆児童の話最後まで聞く ◆児童が、応対が上手にできたときは、ほめる

<令和元度の取り組みから>

立町小学校では、平成22年度から協働型学校目標の協働目標を「自分の思いを最後まで話しましょう」とし、子供たちのコミュニケーションの力を家庭、地域と連携して育ててきました。平成30年度からは、目標設定をワンランクアップさせて「自分の思いをわかりやすくしっかりと話しましょう」とし、学校・家庭・地域の三者協働で児童に働き掛けを行ってきました。

12月に実施した児童の自己評価では、「Aそう思う」が昨年度の36%から今年度は1ポイント下がった35%となりました。「Bややそう思う」については昨年度の46%から今年度は1ポイント上がった46%とAとBを合わせた肯定的な評価の割合は昨年度とほぼ同じ値を示しました。今年度の学習活動時には、どの学年も意識的によく聞き、最後まで話すことの指導を重点的に取り組んできましたが、変化の割合に大きな変動がなかったことは、自分の思いをわかりやすく伝えることの評価の難しさを表していると考えられます。今後も「わかりやすく、しっかりと話す」ことができるよう、目標の具体像を共有し、家庭・地域と連携を図りながら指導・支援をしていく必要があると考えています。

一方、保護者のアンケートでは、「自分の思いをわかりやすくしっかりと話すことができるよう働きかけ、子どもはできている」の設問に対し、「Aできた」が38%、「Cあまりそう思わない」が11%と昨年度と比較してそれぞれ4ポイント上がっています。肯定的評価と否定的評価の値がそれぞれ上がっていますが、これは、保護者が協働型学校評価の目標を理解し、お子様の話を最後まできちんと聞こうという家庭での意識が高まったためだと考えられます。

教職員の自己評価「指導により協働目標が児童に定着したか」では、「Aそう思う」が昨年度から10ポイント上がった評価となっています。また、「Cあまりそう思わない」の割合が12ポイント上がっています。これは、昨年度以上に意識的に「わかりやすくしっかりと話すよう」指導を行った

ものの、教師の目標が高く、その目標に児童の姿が到達していないと判断したためと思われます。学年相応の具体的な児童の姿を設定し、今後さらに児童に対しての働き掛けを工夫・改善していく必要があると考えております。

次年度も、協働目標「自分の思いをわかりやすくしっかりと話しましょう」への取り組みを継続し、自分の思いを、目的を考えてわかりやすく、しっかりと話すことができる児童の育成に努めたいと考えています。

【令和元年度の評価】 ※12月実施

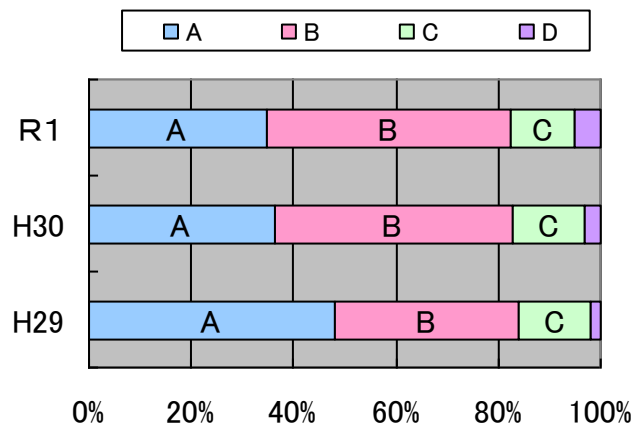
A：そう思う B：ややそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

<協働型学校評価の重点目標（協働目標）>

<児童の自己評価>

	H29	H30	R1
A	92人	70人	73人
B	69人	89人	101人
C	27人	27人	26人
D	4人	6人	11人

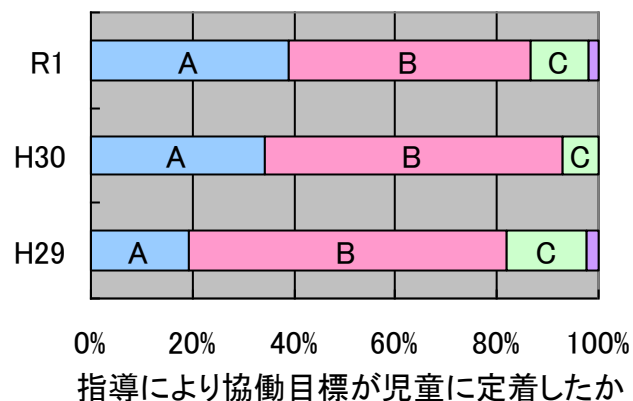
自分の思いをわかりやすくしっかりと話している



<保護者の評価>

	H29	H30	R1
A	33人	47人	62人
B	108人	81人	76人
C	27人	10人	18人
D	4人	0人	3人

「自分の思いをわかりやすくしっかりと話す」ことができるよう働きかけ、子はできている



<教職員の評価>

	H29	H30	R1
A	18%	10%	0%
B	73%	60%	58%
C	9%	30%	42%
D	0%	0%	0%

